



帯広市立帯広第五中学校  
学校だより

# 純 剛

No.5 令和4年5月10日  
校長 高橋 譲

安心・安全を守り 認め合い 支え合い 高め合う学校 <目指す学校像>

早いもので新学期が始まって1ヶ月…

## 357名の安心・安全を守るために

～私達 チーム五中 40名は 日々そして定期的に誓いを新たにしています～

### ◇毎月1日と15日は「KTSBAの日」

改めて申し上げますと、この日は、市内の小・中・義務教育学校全校で、「交通違反・体罰・セクハラ・暴言の根絶、安全意識の向上」を誓う取組を行っています。特に、お子様の心に影響を与える体罰・セクハラ・暴言は、教育公務員として、絶対に許されません。

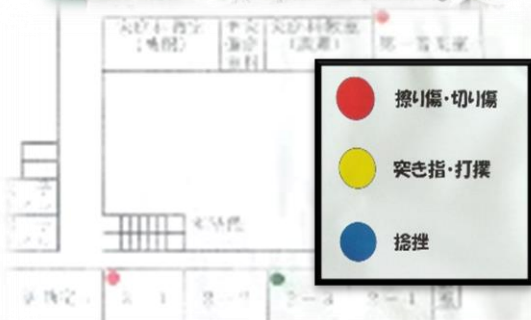
本校では、毎月1日には、朝の職員打合せの際に、教職員が右の写真のとおり、自分の言葉で、自分自身と同僚に思いを込めて誓いを述べる場面を設けています。

この日は、1学年の代表が、「4月、慌ただしい中で、生徒への言葉遣いは大丈夫だったか」「今月は、アンガーマネジメントの手法を生かし、心に余裕をもって対応を」と述べるのを聞きながら、全教職員が改めて初心に戻り、誓いを新たにしました。



※教職員一同、日々、適切で丁寧な指導や対応に努めておりますが、ご不明な点等ございましたら、いつでも、教頭又は校長にお問合せ願います。(五中☎34-5710)

## ケガはここで起こっています!



### ◇ケガの発生場所と内容の「見える化」

養護教諭が分析したところ、「昨年度、五中生は校内の同じ場所でケガをすることが多かった」とのこと。そこで、左のように、校舎内外の図に、ケガの種類別のシールを貼り、保健室前に掲示しています。

生徒も教職員も、この図を日常的に目にするすることで、ケガを「しない」「させない」という意識を高め、ケガが減少することを目指しています。

養護教諭は、全校生徒の健康観察や、ケガをした生徒の早期治療に向けた指導・支援、心の健康の把握と改善にも大切な役割を担っています。お子様の心と体に関するご相談やご心配等がございましたら、いつでも、お気軽にお問合せください。

## What's up. 五中?



= 3年目の市民学スタート =  
今年も地域の様々な職業の方々から、ふるさと帯広について学び、将来の生き方を考える学習が始まりました。  
今年度の皮切りは、帯広市の台所事情について、財政課の方に教えていただきました。

= 全国学力・学習状況調査 =  
3年生が4月28日に実施しました。



←今年から、「質問紙」は、タブレット端末を使って回答。将来的には、教科の問題もオンラインで解答することになるかも…



= 修学旅行のために… =  
5月2日から学級の半分が別室に分かれて給食を…。予定通りに修学旅行に！という涙ぐましい努力です！



= 部活動・同好会集會 =  
校長室からオンライン開催。挨拶の後、激励の思いを中学校時代に吹奏楽部で経験したトランペットに乗せて…

※3年生の修学旅行は16日(月)出発です。引き続き、お子様とご家族の体調管理にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。